

令和 8 年度 登山計画書等分析業務の進捗報告について

観光スポーツ部山岳高原観光課

1 目的

県に提出された登山計画書（県登山安全条例施行規則第 3 条第 3 項に規定する団体が受け付けた県知事に届出があったものとみなす登山計画書を含む）や県警等が保有する遭難者情報を組み合わせて分析し、近年の登山者の属性や行動、遭難につながる傾向等を定量的に把握し、効果的な遭難防止対策の検討に活用することを目的とする。

2 分析の方法と状況

登山地図アプリ「YAMAP」経由で長野県に届出された登山計画書及び登山の記録（ログ）の分析を行う。なお、分析の対象となる範囲は以下のとおり。

- ・対象山域：県内山域における主要な登山道（33 ルート）
- ・対象期間：令和 5 年～7 年（過去 3 年分）
- ・登山計画書（ヤママップみなし届出分）の情報：下表ルートに係る登山計画書（複数ルートを縦走する計画の場合は、ルートごとに 1 件とカウント）

<データ区分>性別、年代、居住地、入山日、下山日、人数、ルート

山 域	対象ルート（グレーディング評価）	
北アルプス (21 ルート)	・新中ノ湯登山口～焼岳（2B） ・柏原新道登山口～爺ヶ岳（4B） ・三股登山口～蝶ヶ岳（4B） ・上高地～前穂高岳（4D） ・三股登山口～常念岳（5B） ・三股登山口～常念岳～蝶ヶ岳（5B） ・八方尾根登山口～唐松岳～五竜岳（5C） ・柏原新道登山口～爺ヶ岳～鹿島槍ヶ岳（6B） ・猿倉登山口～白馬岳～唐松岳（6D） ・針ノ木登山口～爺ヶ岳～柏原新道登山口（7B） ・上高地～涸沢～奥穂高岳（7C） ・上高地～槍沢～槍ヶ岳（8C） ・中房温泉登山口～燕岳～大天井岳～槍ヶ岳（9C） ・八方尾根登山口～唐松岳（3B） ・中房温泉登山口～燕岳（4B） ・猿倉登山口～白馬岳（4C） ・梅池登山口～白馬岳（5B） ・上高地～涸沢（5B） ・五竜登山口～五竜岳（5C） ・上高地～涸沢～北穂高岳（7D） ・上高地～槍ヶ岳北鎌尾根	
八ヶ岳 (4 ルート)	・桜平駐車場～硫黄岳（3B） ・美濃戸登山口～赤岳（文三郎 3C、地藏尾根 4C） ・美濃戸登山口～赤岳～横岳～硫黄岳（4C） ・唐沢鉱泉～天狗岳（3B）	
南アルプス (3 ルート)	・北沢峠登山口～甲斐駒ヶ岳（3C） ・鳥倉登山口～塩見岳（7D） ・北沢峠登山口～仙丈ヶ岳（3C）	
中央アルプス (2 ルート)	・千畳敷駅～木曽駒ヶ岳（2B） ・菅の台バスセンター～空木岳（6C）	
上信越 (2 ルート)	・戸隠神社奥社～戸隠山（3D） ・戸隠牧場～高妻山（4D）	
御嶽山 (1 ルート)	・七合目行場山荘～御嶽山（3B）	

※登山の記録（ログ）の集計については、精査中

年代、性別、居住地ごとの月別集計表（集計済みデータを受領予定）、ヒートマップ
＜データ区分＞性別、年代、居住地

[参考] 分析を委託した内容（北アルプス及び八ヶ岳の25ルート）

- ・対象山域ごとの登山者総数の推計
- ・遅出遅着集団の把握と登山者属性の分析
- ・登山計画上のコースタイムと実行動時間の乖離の把握
- ・登山計画書等の複数の項目を掛け合わせた登山者の傾向分析 など

3 登山計画書の内訳について

ヤママップから受領した登山計画書の内訳は以下のとおり。なお、参考値として、一部データに長野県における遭難状況（令和5年～令和7年延べ数）を掲載した。（出展：「長野県山岳遭難統計」、長野県警察）

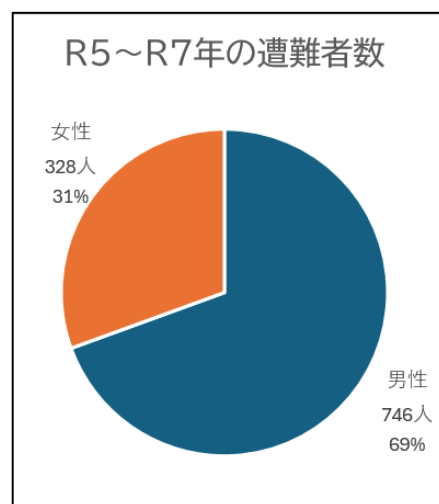
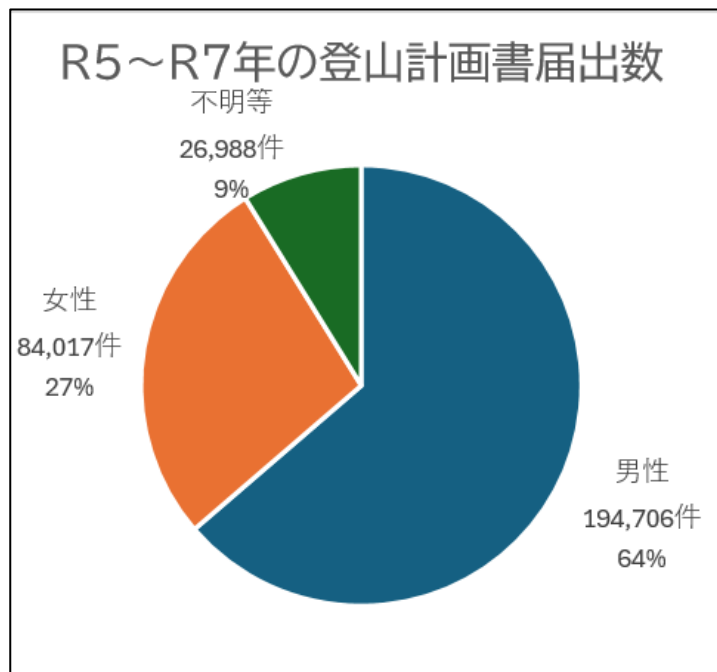
（1）登山ルートごとの受領件数について（年別） ※R8.9.14時点受領分

登山ルート	令和5年	令和6年	令和7年	計
北アルプス北部（9ルート）	19,347	24,251	30,068	73,666
猿倉登山口～白馬岳	2,072	382	2,296	4,750
猿倉登山口～白馬岳～唐松岳	783	944	1,387	3,114
五竜登山口～五竜岳	1,847	2,607	3,171	7,625
針ノ木登山口～爺ヶ岳～柏原新道登山口	546	664	879	2,089
拇池登山口～白馬岳	1,896	3,959	5,036	10,891
柏原新道登山口～爺ヶ岳	3,055	3,675	3,516	10,246
柏原新道登山口～爺ヶ岳～鹿島槍ヶ岳	1,783	2,321	2,634	6,738
八方尾根登山口～唐松岳	5,553	7,148	7,941	20,642
八方尾根登山口～唐松岳～五竜岳	1,812	2,551	3,208	7,571
北アルプス南部（12ルート）	36,368	40,745	46,200	123,365
三股登山口～常念岳	1,549	1,921	2,934	6,404
三股登山口～常念岳～蝶ヶ岳	3,441	3,898	4,693	12,032
三股登山口～蝶ヶ岳	3,899	4,512	5,047	13,458
上高地～前穂高岳	2,362	2,463	2,754	7,579
上高地～槍ヶ岳（槍沢）	3,639	4,208	5,146	12,993
上高地～涸沢	3,214	3,561	4,576	11,351
上高地～涸沢～奥穂高岳	4,336	5,042	5,730	15,108
上高地～涸沢～北穂高岳	708	939	1,357	3,004
新中ノ湯登山口～焼岳	2,019	1,586	1,795	5,400
中房温泉登山口～燕岳	7,760	8,874	8,344	24,978
中房温泉登山口～燕岳～大天井岳 ～槍ヶ岳（表銀座）	3,441	3,741	3,824	11,006
上高地～槍ヶ岳北鎌尾根	0	0	52	52

八ヶ岳（４ルート）	13,920	16,546	18,458	48,924
桜平駐車場～硫黄岳	2,361	2,456	2,905	7,722
唐沢鉱泉～天狗岳	2,289	2,590	2,147	7,026
美濃戸登山口～赤岳	4,617	6,187	7,583	18,387
美濃戸登山口～赤岳～横岳～硫黄岳	4,653	5,313	5,823	15,789
南アルプス（３ルート）	6,629	7,538	8,707	22,874
鳥倉登山口～塩見岳	1,154	1,432	1,730	4,316
北沢峠登山口～甲斐駒ヶ岳	2,596	2,954	3,410	8,960
北沢峠登山口～仙丈ヶ岳	2,879	3,152	3,567	9,598
中央アルプス（２ルート）	7,318	7,884	10,388	25,590
菅の台バスセンター～空木岳	1,718	2,030	2,342	6,090
千畳敷駅～木曾駒ヶ岳	5,600	5,854	8,046	19,500
上信越（２ルート）	1,603	1,881	1,640	5,124
戸隠神社奥社～戸隠山	615	646	575	1,836
戸隠牧場～高妻山	988	1,235	1,065	3,288
御嶽山（１ルート）	2,009	2,133	2,026	6,168
七合目行場山荘～御嶽山	2,009	2,133	2,026	6,168
総合計（33 ルート）	87,194	100,978	117,539	305,711

（２）性別ごとの内訳について

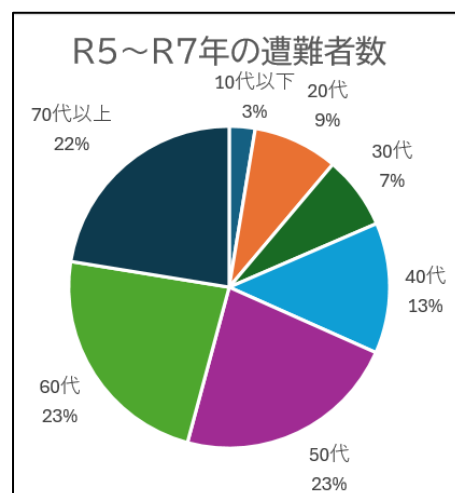
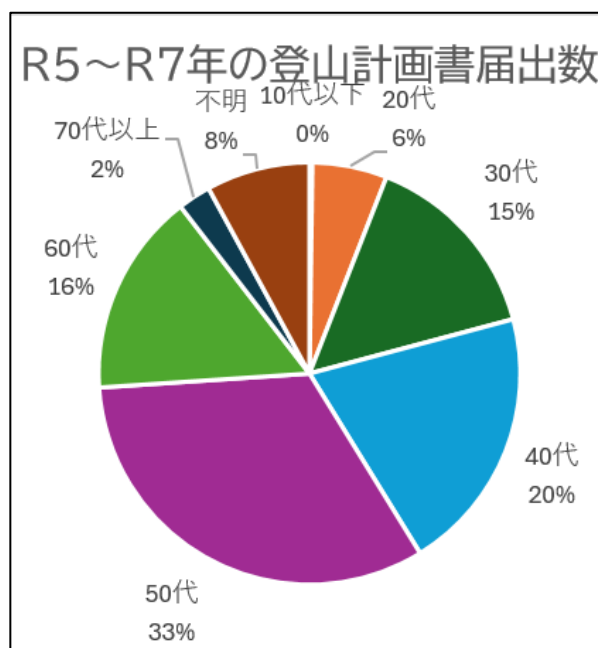
登山計画書、遭難者ともに、全体として男性の方が多い傾向にある。



（３）年代別の内訳について

登山計画書においては、50代が全体の３割と最多。次いで40代（20%）、60代（16%）。遭難状況では、50代、60代の割合がともに23%と最多。次いで70代（22%）。

※アプリ利用者には高齢者が少ない可能性があるため、単純比較は行えない。

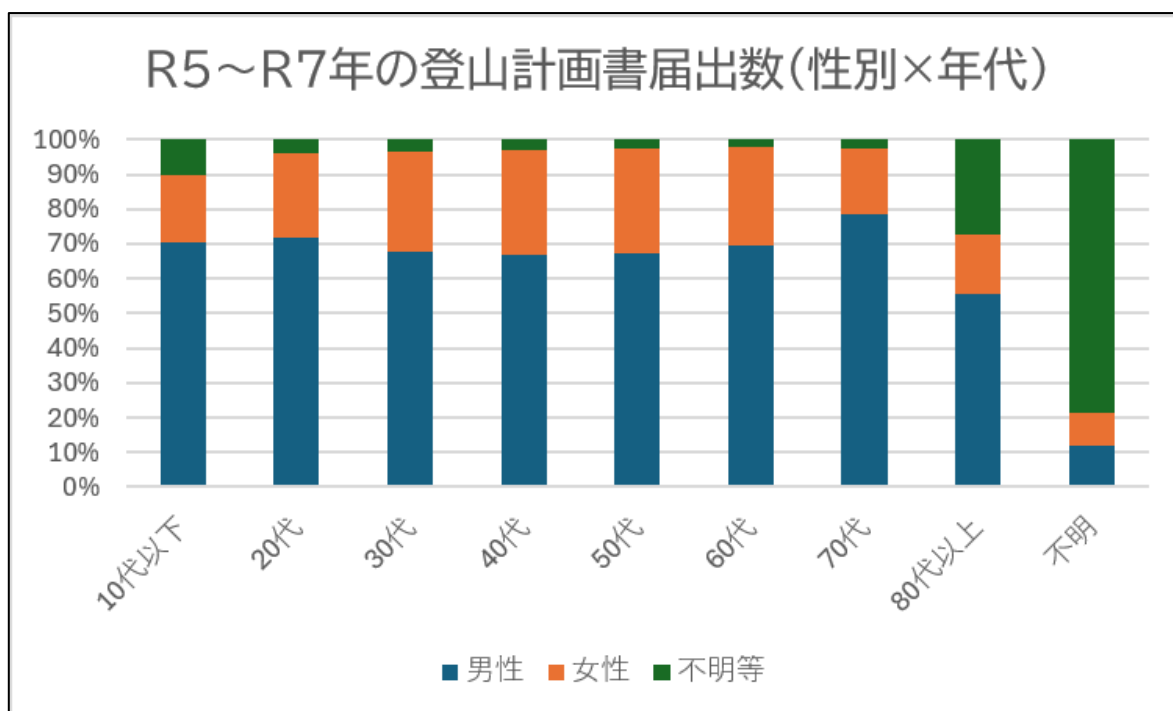


《年代別登山計画書届出数、遭難者数》

	10代以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
登山計画書	671	17,526	45,553	62,227	100,072	47,647	7,714	24,301
遭難者数	28	92	79	141	242	251	241	—

(4) 性別×年代の内訳について

全年齢を通じて、男性が全体の約7割を占める。



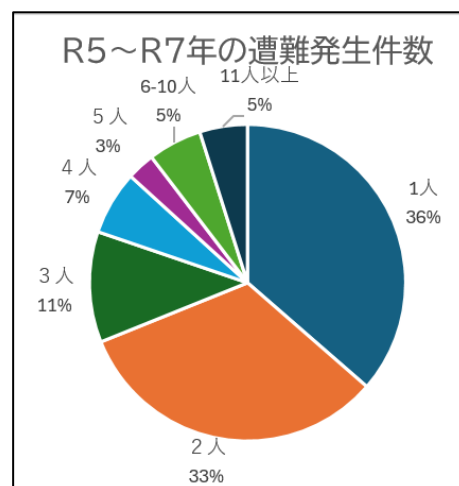
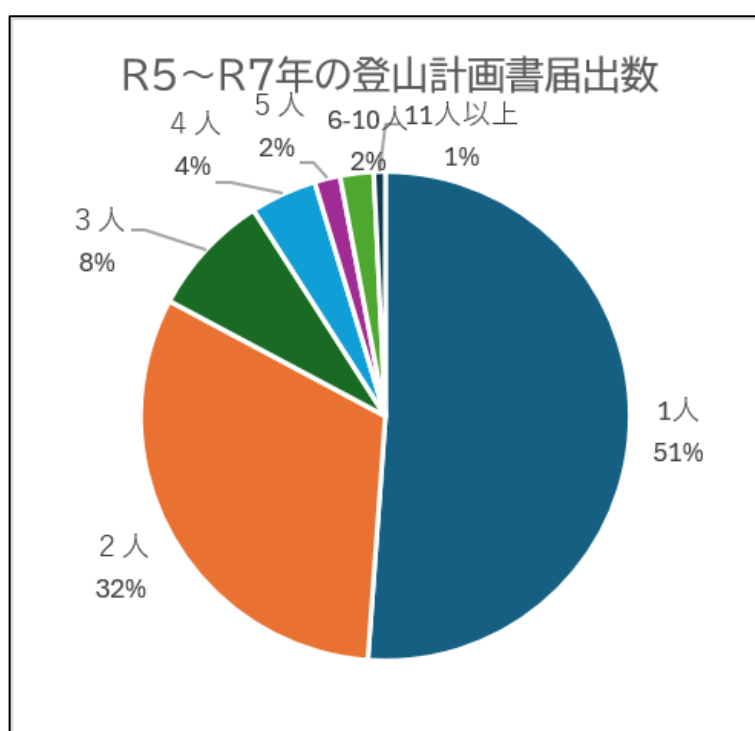
《性別・年代別登山計画書届出数》

	10代以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	不明
男性	472	12,616	30,764	41,662	67,251	33,112	5,804	190	2,835
女性	130	4,206	13,308	18,566	30,444	13,549	1,395	58	2,361
不明等	69	704	1,481	1,999	2,377	986	173	94	19,105

(5) パーティ人数の内訳について

登山計画書届出数においては、単独（1人）の届出件数が過半数を占める。

一方、山岳遭難における単独（1人）の割合は3～4割。



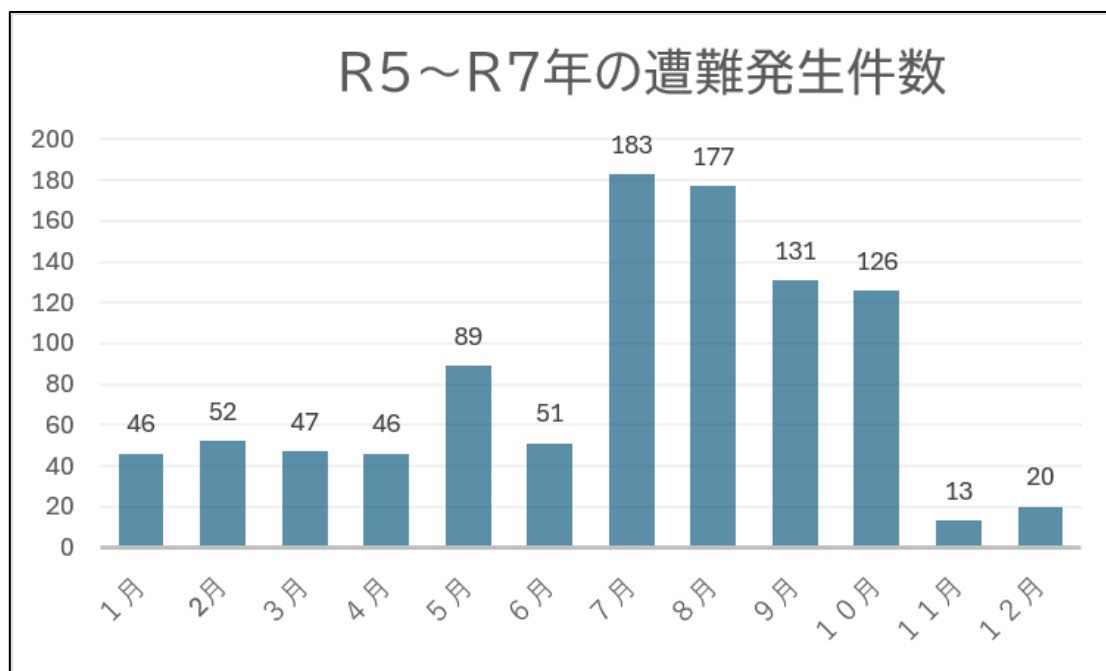
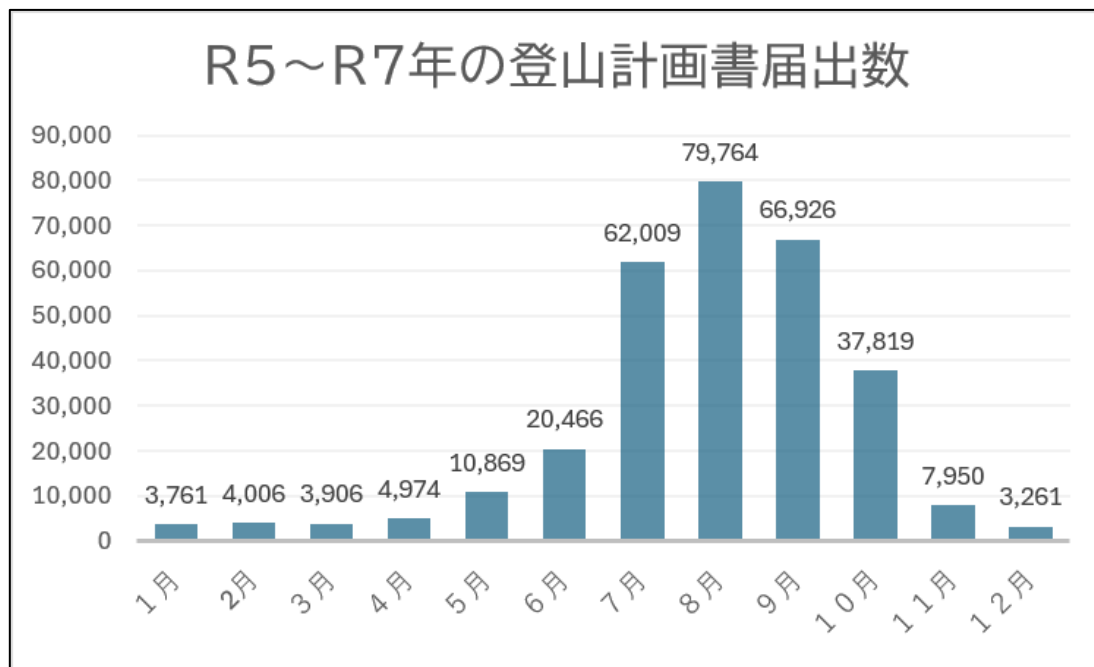
《パーティ人数別登山計画書届出数、遭難統計》

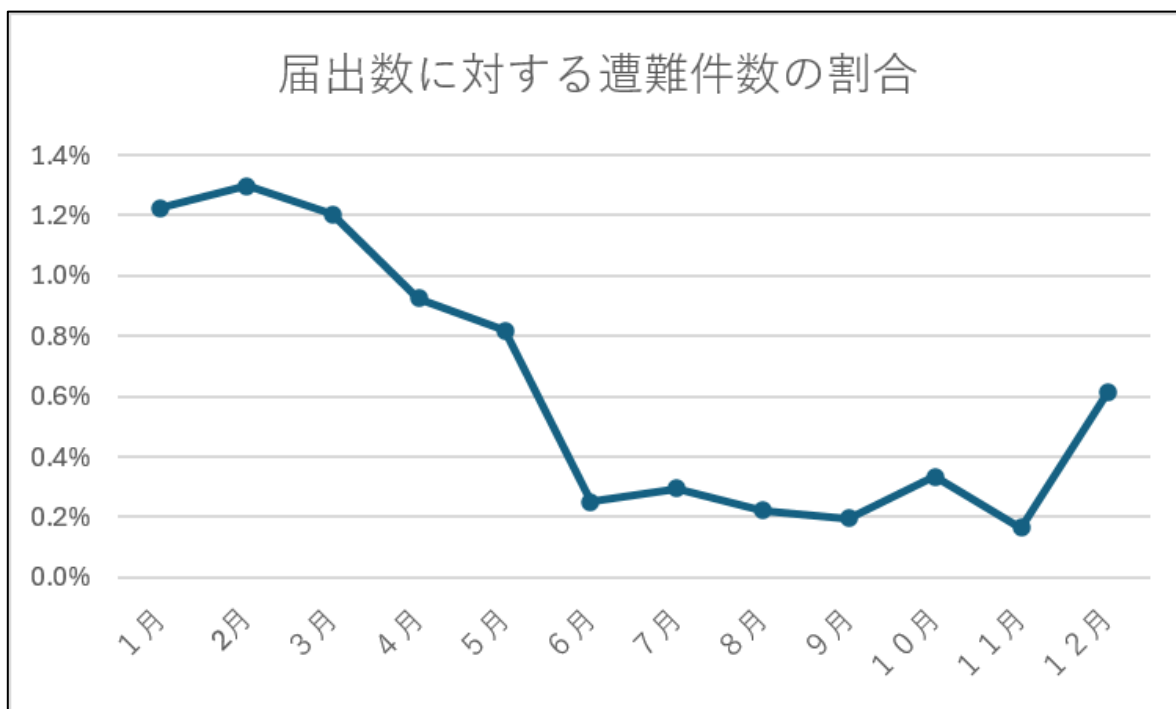
	1人	2人	3人	4人	5人	6-10人	11人以上
登山計画書	156,363	96,749	24,911	13,415	5,179	6,773	2,321
遭難発生件数	357	319	111	64	28	54	48

(6) 月別の内訳について

登山計画書の届出数と遭難者数の傾向は概ね一致しているが、届出数に対する遭難件数の割合では、冬山から春山にかけては、届出件数が少ないにもかかわらず、遭難件数は他の季節に比べて高い傾向にある。

登山計画書届出数が多い7～10月の中では、夏山シーズンの始まりである7月、秋山シーズンの終わりである10月が、届出数に対する遭難件数の割合が若干高い。





(7) 通行量ヒートマップについて (別紙参照)

対象 33 ルートを含む 12 地図×3 年度×4 区分 (春夏秋冬) にて提供

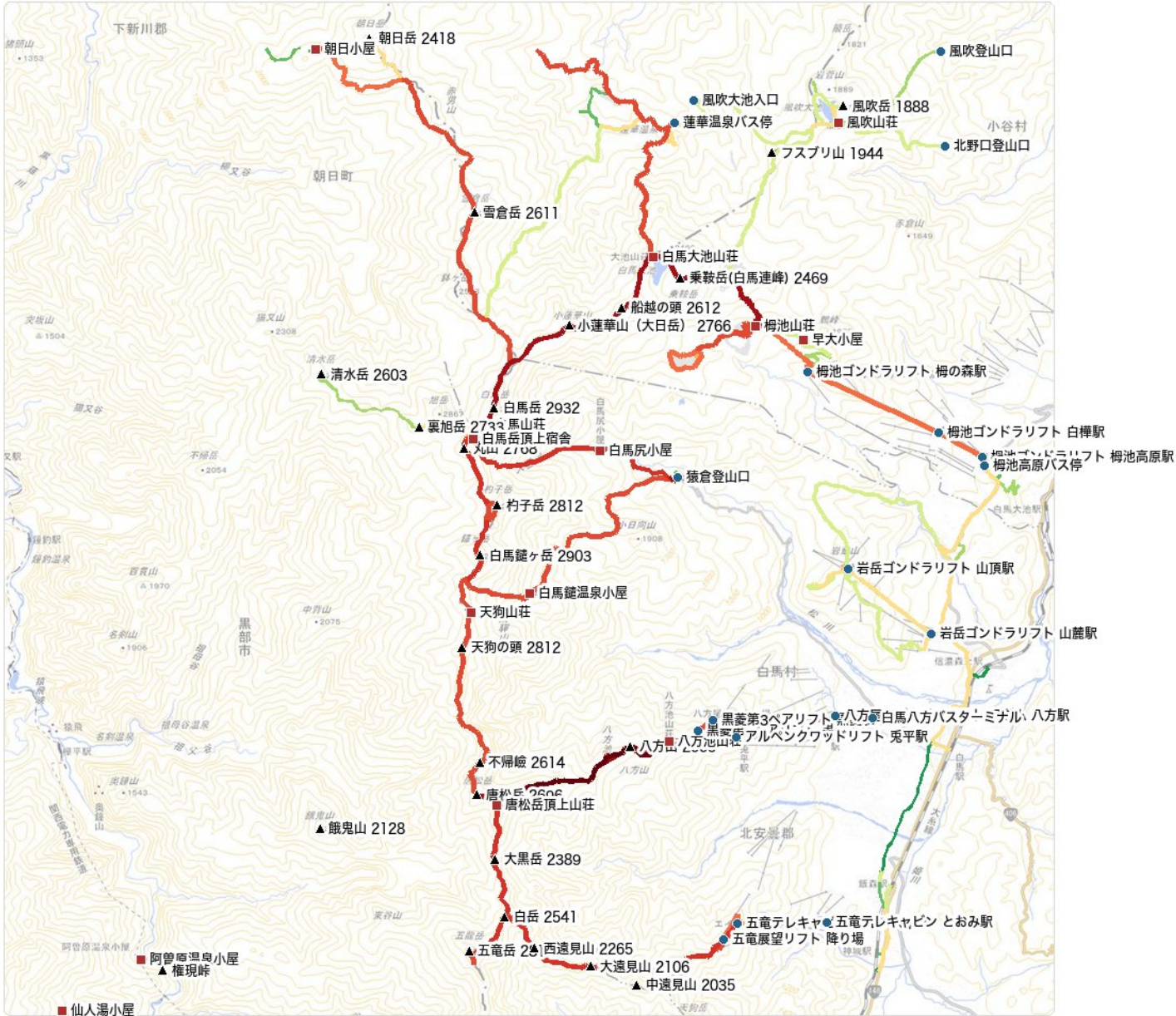
別紙：北アルプス周辺地図×R 7 年度×夏 (7～8 月)

4 今後の分析の方向性

第4回検討会において、遅出遅着集団の属性分析、計画と実行動時間の乖離の把握、登山者と遭難者の関係の分析等を進め、近年の登山者の属性や行動、遭難につながる傾向等を把握することにより、今後山岳遭難防止対策を行う登山者層や山城等の検討に活用することを想定。

白馬岳・小蓮華山

地図ID 59 / 令和7年度 夏季 / 2025年7月1日 - 2025年8月31日 / 表示閾値：通行量5件以上



通行量（活動日記数）

全144図面で共通の階級



記号

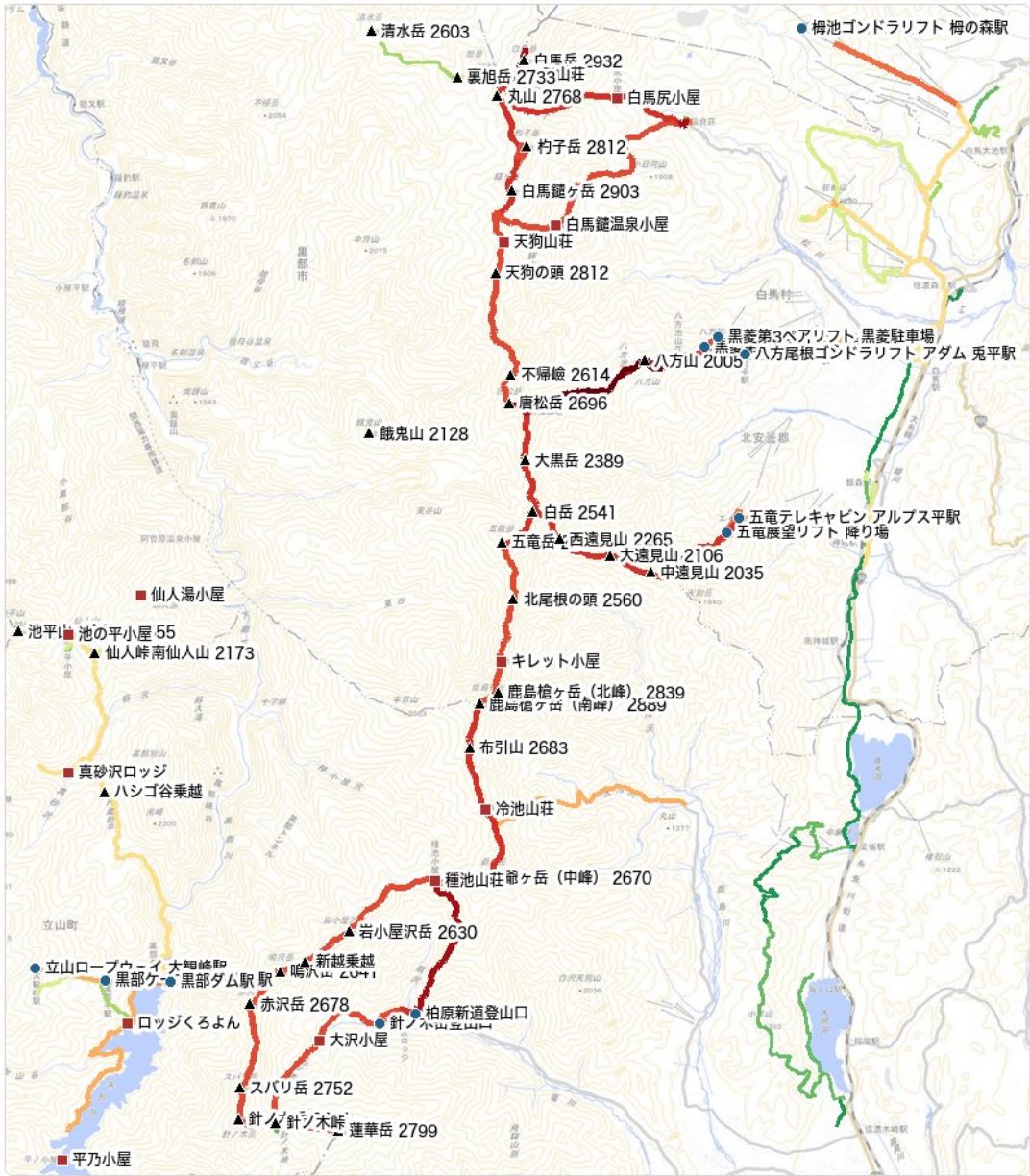
- ▲ 山頂・峠
- 山小屋
- 登山口・交通

通行量の多い区間

区間名は最も近いランドマーク

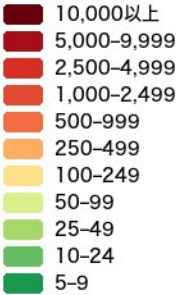
1. 八方山	13,535
2. 八方池山荘	13,511
3. 扇雪溪	11,402
4. 唐松岳頂上山荘	10,900
5. 八方池	10,552
6. 唐松岳	9,313
7. 白馬山荘	9,274
8. 大池山荘テント場	9,114

※ 色は全144図面で共通の階級です。同じ色は同じ通行量を意味し、山域・季節をまたいで比較できます。
※ 通行量が5件未満の区間は、個人が特定されないよう非表示としています。
※ ヒートマップ単独では危険地点を特定できないため、表22（地点別の遭難発生率）との併用が必要です。
※ 通行量は活動日記（GPSログ）にもとづく延べ件数で、登山計画書の提出の有無による影響を受けません。



通行量（活動日記数）

全144図面で共通の階級



記号

- ▲ 山頂・峠
- 山小屋
- 登山口・交通

通行量の多い区間

区間名は最も近いランドマーク

1. 八方山	13,535
2. 八方池山荘	13,511
3. 扇雪溪	11,402
4. 唐松岳頂上山荘	10,900
5. 八方池	10,552
6. 唐松岳	9,313
7. 白馬山荘	9,274
8. 白馬岳	8,548

※ 色は全144図面で共通の階級です。同じ色は同じ通行量を意味し、山域・季節をまたいで比較できます。
※ 通行量が5件未満の区間は、個人が特定されないよう非表示としています。
※ ヒートマップ単独では危険地点を特定できないため、表22（地点別の遭難発生率）との併用が必要です。
※ 通行量は活動日記（GPSログ）にもとづく延べ件数で、登山計画書の提出の有無による影響を受けません。



通行量（活動日記数）

全144図面で共通の階級



記号

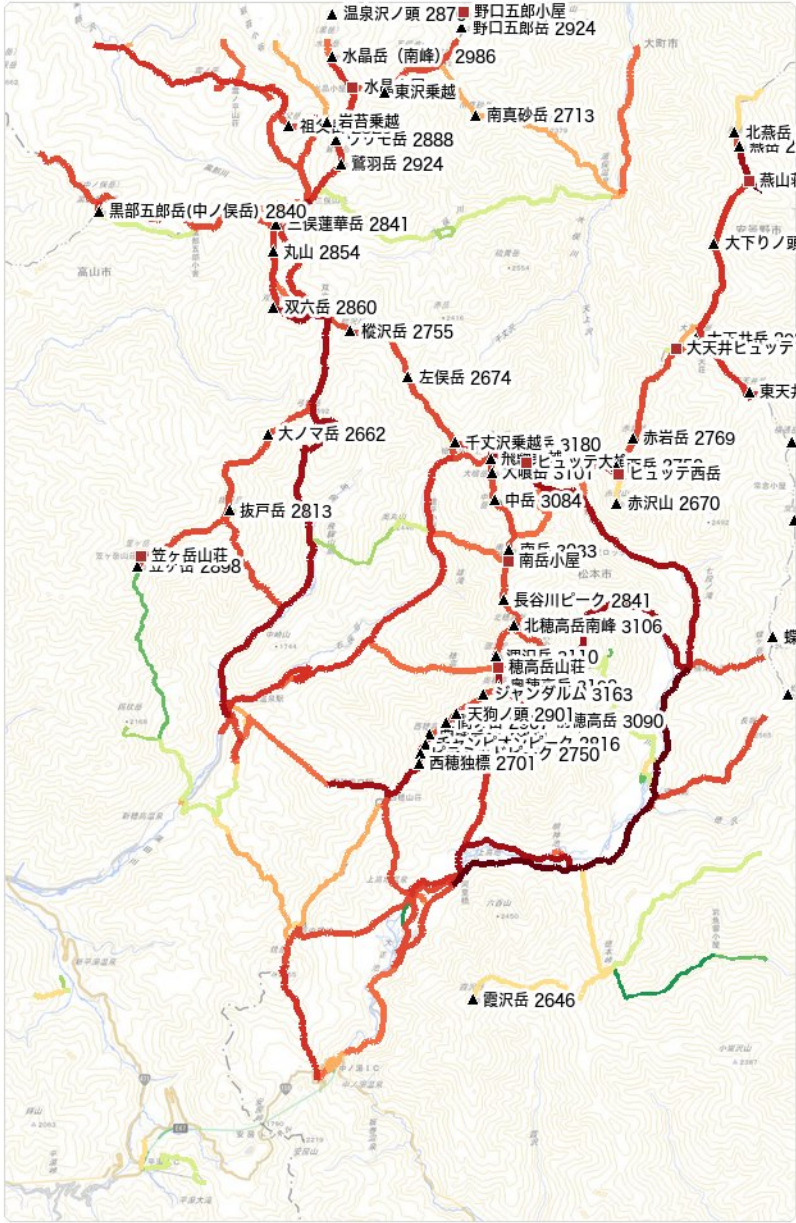
- ▲ 山頂・峠
- 山小屋
- 登山口・交通

通行量の多い区間

区間名は最も近いランドマーク

1. 柏原新道登山口	5,728
2. 種池山荘	5,689
3. 爺ヶ岳（南峰）	4,775
4. 冷池山荘	3,861
5. 冷池山荘テント場	3,637
6. 爺ヶ岳（中峰）	3,629
7. 大沢小屋	2,360
8. 針ノ木峠	2,355

※ 色は全144図面で共通の階級です。同じ色は同じ通行量を意味し、山域・季節をまたいで比較できます。
※ 通行量が5件未満の区間は、個人が特定されないよう非表示としています。
※ ヒートマップ単独では危険地点を特定できないため、表22（地点別の遭難発生率）との併用が必要です。
※ 通行量は活動日記（GPSログ）にもとづく延べ件数で、登山計画書の提出の有無による影響を受けません。



通行量（活動日記数）

全144図面で共通の階級

- 10,000以上
- 5,000-9,999
- 2,500-4,999
- 1,000-2,499
- 500-999
- 250-499
- 100-249
- 50-99
- 25-49
- 10-24
- 5-9

記号

- ▲ 山頂・峠
- 山小屋
- 登山口・交通

通行量の多い区間

区間名は最も近いランドマーク

1. 小梨平野営場	18,703
2. 嘉門次小屋	18,247
3. 徳沢キャンプ場	18,002
4. 徳沢ロッジ	17,970
5. 徳澤園	16,367
6. 営林署避難小屋	16,165
7. 上高地バス停	15,238
8. 燕山荘	11,765

※ 色は全144図面で共通の階級です。同じ色は同じ通行量を意味し、山城・季節をまたいで比較できます。
※ 通行量が5件未満の区間は、個人が特定されないよう非表示としています。
※ ヒートマップ単独では危険地点を特定できないため、表22（地点別の遭難発生率）との併用が必要です。
※ 通行量は活動日記（GPSログ）にもとづく延べ件数で、登山計画書の提出の有無による影響を受けません。



通行量（活動日記数）

全144図面で共通の階級

- 10,000以上
- 5,000-9,999
- 2,500-4,999
- 1,000-2,499
- 500-999
- 250-499
- 100-249
- 50-99
- 25-49
- 10-24
- 5-9

記号

- ▲ 山頂・峠
- 山小屋
- 登山口・交通

通行量の多い区間

区間名は最も近いランドマーク

1. 小梨平野営場	18,703
2. 嘉門次小屋	18,247
3. 徳沢キャンプ場	18,002
4. 徳沢ロッジ	17,970
5. 徳澤園	16,367
6. 営林署避難小屋	16,165
7. 上高地バス停	15,238
8. 第2ベンチ	11,951

※ 色は全144図面で共通の階級です。同じ色は同じ通行量を意味し、山域・季節をまたいで比較できます。
※ 通行量が5件未満の区間は、個人が特定されないよう非表示としています。
※ ヒートマップ単独では危険地点を特定できないため、表22（地点別の遭難発生率）との併用が必要です。
※ 通行量は活動日記（GPSログ）にもとづく延べ件数で、登山計画書の提出の有無による影響を受けません。